

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	保健体育:体育(必履修)		単位数 3 単位	履修年次 2 年次
目標	・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びをより深く味わい、豊かに継続できるよう運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付ける。 ・運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断し、自己や他者の考えを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や協働を通して、それらを安心・安全かつ適切に行おうとする意欲を養い、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
使用教材	教科書「大修館書店 現代高等保健体育」 副教材「大修館書店 ステップアップ高校スポーツ」			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることに主体的に取り組もうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、授業態度、学習意欲、技術習得状況、ルール理解度、体育理論に関するプリント学習の取組状況・ペーパーテスト等を総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	○体づくり運動をととして、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自己や仲間の課題を解決したり助け合ったりする。 ○選択Ⅰ・Ⅱ(次から2種目選択) ・陸上競技、器械運動(マット運動) ・球技(ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー) ○体育理論において、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる能力を身に付ける。 ・陸上競技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方等を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・マット運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方等を理解するとともに、自己に適した技で演技する能力を身に付ける。 ・球技では、フェアプレイを大切にし、役割を主体的に引き受け、自己の責任を果たそうとする能力を身に付ける。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。	
2	○体づくり運動をととして、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自己や仲間の課題を解決したり助け合ったりする。 ○選択Ⅲ(次から1種目選択) ・球技(卓球、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー、バドミントン) ・ダンス ○全員選択:陸上競技(長距離走) ○体育理論において、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる能力を身に付ける。 ・球技では、フェアプレイを大切にし、役割を主体的に引き受け、自己の責任を果たそうとする能力を身に付ける。 ・ダンスでは、感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりしながら多様な楽しさや喜びを味わう能力を身に付ける。 ・長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる能力を身に付ける。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての課題を発見・考察する能力を身に付ける。	
3	○体づくり運動をととして、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自己や仲間の課題を解決したり助け合ったりする。 ○選択Ⅳ・Ⅴ(次から2種目選択) ・球技(卓球、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー、バドミントン) ○体育理論において、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる。 ・球技では、主体的に取り組む、フェアプレイを大切にし、役割を主体的に引き受け、自己の責任を果たそうとする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての課題を探究する能力を身に付ける。	
学習上の留意点	・あらゆる種目において、主体的に取り組む、健康・安全に留意する。 ・他人とのコミュニケーションを図り、協働して授業に参加する。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	保健体育：保健（必修）		単位数 1 単位	履修年次 2 年次
目標	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 ・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付ける。			
使用教材	教科書「大修館書店 現代高等保健体育」			
評価の観点・評価基準	（知識・技能）	（思考・判断・表現）	（主体的に学習に取り組む態度）	
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、授業態度、学習意欲、ペーパーテストの点数、提出物、理解度等を総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	生涯の各段階における健康、労働と健康等について学習するとともに、自他や社会の課題を発見したり、その解決を目指したりする。		・健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病を踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。 ・健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断したり表現したりする能力を身に付ける。	
2	環境と健康、食品と健康等について学習するとともに、自他や社会の課題を発見したり、その解決を目指したりする。		・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことやその防止には、汚染防止及び改善の対策が必要であることを理解する。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進するうえで重要であることや、食品衛生活動は食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づいて行われていることを理解する。 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断したり表現したりする能力を身に付ける。	
3	保健・医療制度及び地域の保健・医療関係、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加等について学習するとともに、自他や社会の課題を発見したり、その解決を目指したりする。		・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や保健サービスを適切に活用することが必要であることを理解する。 ・医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があることや疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解する。 ・わが国や世界では、健康課題に対して様々な保健活動や社会対策が行われていることを理解する。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を活かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解する。	
学習上の留意点	健康・安全については、各個人の生活に密着した身近な問題であることを理解し、今後の生活全般において学習した内容を生かせるように心がける。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	保健体育:体育(必履修)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びをより深く味わい、豊かに継続できるよう運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付ける。 ・運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断し、自己や他者の考えを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や協働を通して、それらを安心・安全かつ適切に行おうとする意欲を養い、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
使用教材	教科書「大修館書店 現代高等保健体育」 副教材「大修館書店 ステップアップ高校スポーツ」			
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることに主体的に取り組もうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、授業態度、学習意欲、技術習得状況、ルール理解度、体育理論に関するプリント学習の取組状況・ペーパーテスト等を総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	○体づくり運動をとおして、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自己や仲間の課題を解決したり助け合ったりする。 ○選択Ⅰ・Ⅱ(次から2種目選択) ・陸上競技、器械運動(マット運動) ・球技(ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー) ○体育理論において、豊かなスポーツライフの設計について学ぶ。		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる能力を身に付ける。 ・陸上競技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方等を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・マット運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方等を理解するとともに、自己に適した技で演技する能力を身に付ける。 ・球技では、フェアプレイを大切にし、役割を引き受けて自己の責任を果たそうとする能力を身に付ける。	
2	○体づくり運動をとおして、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自己や仲間の課題を解決したり助け合ったりする。 ○選択Ⅲ(次から1種目選択) ・球技(卓球、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー、バドミントン) ・ダンス ○全員選択:陸上競技(長距離走) ○体育理論において、豊かなスポーツライフの設計について学ぶ。		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる能力を身に付ける。 ・球技では、フェアプレイを大切にし、役割を引き受けて自己の責任を果たそうとする能力を身に付ける。 ・ダンスでは、感じを込めて仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりしながら多様な楽しさや喜びを味わう能力を身に付ける。 ・長距離走では、ペースの変化に対応して走る能力を身に付ける。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見・考察する能力を身に付ける。	
3	○体づくり運動をとおして、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自己や仲間の課題を解決したり助け合ったりする。 ○選択Ⅳ・Ⅴ(次から2種目選択) 球技(卓球、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー、バドミントン) ○体育理論において、豊かなスポーツライフの設計について学ぶ。		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる能力を身に付ける。 ・球技では、フェアプレイを大切にし、役割を引き受けて自己の責任を果たそうとする能力を身に付ける。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を探究する能力を身に付ける。	
学習上の留意点	・あらゆる種目において、主体的に取り組み、健康・安全に留意する。 ・他人とのコミュニケーションを図り、協働して授業に参加する。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	体育:スポーツⅡ（選択）		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	球技の推進・発展に向けた多様な関わり方を理解したり技能を身に付けたり、球技における自他や社会の課題を発見し、思考・判断したりするとともに、他者に伝えたりする能力を身に付ける。また、球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任等に対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通じてスポーツを継続する態度を養う。			
使用教材	プリント教材等			
評価の観点・評価基準	（知識・技能）	（思考・判断・表現）	（主体的に取り組む態度）	
	技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、試合の行い方を理解している。また、スポーツの多様な楽しさや喜びを深く味わったり、他者と学び合う場面で見本や改善ポイントを表現したりしている。	発見した動きの改善点や効果的な改善策について、自己や仲間指摘したり、チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案したりしている。また、体力や技能の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともにスポーツを楽しむための調整の仕方を見つけている。	スポーツの学習に主体的に取り組もうとしたり、勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしたりしようとしている。また、互いに助け合い、自己の役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、授業態度、学習意欲、技術習得状況等を総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	○球技(次から選択) ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・バスケットボール ・ソフトボール		・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開する力を身に付ける。 ・競技の特性やルール、競技方法、安全への配慮を理解し、競技に必要な基礎的な技術を身に付ける。	
2	○球技(次から選択) ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・バスケットボール ・ゴルフ ・ソフトボール		・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開する能力を身に付ける。 ・競技の特性やルール、競技方法、安全への配慮、チームワークを理解し、競技に必要な正しい技術を身に付ける。	
3	○球技(次から選択) ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・バスケットボール ・ゴルフ ・ソフトボール		・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開する能力を身に付ける。 ・競技の特性やルール、競技方法、安全への配慮、チームワークを深く理解し、競技に必要な発展的な技術を身に付ける。	
学習上の留意点	・あらゆる種目において、積極的に取り組み、健康・安全に留意する。 ・他人とのコミュニケーションを図り、協働して授業に参加する。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	保健体育:野外活動(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	自然豊かな学校周辺地域の特性を活かし、自然体験・フィッシング・カヌー・キャンプ等の授業を通して、豊かな心と集団における規律ある行動を身に付けるとともに、生涯にわたって自然と親しみ、それを大切にする態度を育てる。			
使用教材	・活動に必要な器具 ・プリント教材 ・年間実習費2,000円程度			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	活動における意義や必要性、及び合理的な実施方法を理解し、知識を身に付けている。また、安全について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	活動の合理的な実施方法や計画的な活動の仕方を工夫している。また、活動における安全について考え、実践している。また、自己や他のメンバーの危険を回避するための活動の仕方を提案している。	活動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、自ら進んで計画的に行動するとともに、安全に関心を持ち、主体的・意欲的に学習に取り組もうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、授業態度、学習意欲、技術習得状況等を総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	・近隣の尾呂志川でカヌーを体験し、技術や安全面を学ぶ。 ・農作物の栽培を通して、季節の農産物について学習する。 ・上記のような集団で行う様々な活動を通して、課題解決能力や作業を共同で行う能力を身に付けるとともに、生涯にわたって自然と親しみ、それを大切にする態度を学ぶ。		・カヌーを安全に乗るための知識を深めるとともに、カヌーを快適に動作したり身の安全を確保したりするための技能を身に付ける。 ・畑を耕作し、サツマイモ・エダマメ・とうもろこし・じゃがいも等の作物を協働で育てる知識や技能を身に付けるとともに、肥料や水の与え方等の学習を通して、作物の成長過程を考察したり自分たちで作った作物の収穫に携わったりして、達成感を共有する態度を身に付ける。	
2	・近隣の尾呂志川でカヌーを体験し、技術や安全面を学ぶ。 ・海釣りを通して、キャストイングの技術や魚の種類、生態等を学び、その楽しさを体験する。 ・野外料理としてどのようなメニューが適しているかを考え、協力して調理する。 ・上記のような集団で行う様々な活動を通して、課題解決能力や作業を共同で行う能力を身に付けるとともに、生涯にわたって自然と親しみ、それを大切にする態度を学ぶ。		・カヌーを安全に乗るための知識を深めるとともに、カヌーを快適に動作したり身の安全を確保したりするための技能を身に付ける。 ・海釣りを体験することにより、魚の種類や生態、竿・リール等の道具についての知識を深めるとともに、遠くまでキャストイングする技術やえさの付け方等を身に付ける。 ・野外料理には、どのようなメニューが適しているかを考えて協働で料理したり、切り傷や火傷等の怪我に留意しながら食材に応じて調理方法を選んだりする能力を身に付ける。	
3	・近隣の自然に親しみ、楽しく散策することで自然のすばらしさを体験する。 ・海釣りを通して、キャストイングの技術や魚の種類、生態等を学び、その楽しさを体験する。 ・上記のような集団で行う様々な活動を通して、課題解決能力や作業を共同で行う能力を身に付けるとともに、生涯にわたって自然と親しみ、それを大切にする態度を学ぶ。		・近隣の自然に親しみ、楽しく散策することで爽快感を味わい、生涯をとおして自然のすばらしさを経験する態度を身に付ける。 ・海釣りを体験することにより、魚の種類や生態、竿・リール等の道具についての知識を深めるとともに、遠くまでキャストイングする技術やえさの付け方等を身に付ける。	
学習上の留意点	・積極的に取り組み、健康・安全に留意する。 ・他人とのコミュニケーションを図り、協働して授業に参加する。			